

沖縄市市制施行 50th Anniversary 周年特集

令和6年4月1日に市制施行50周年を迎えます。

私たちのまちを知ろう

沖縄市には太古の人々の暮らしを偲ばせる貝塚から、越来グスク跡などの琉球王国時代、近代の史跡や遺跡、エイサーや知花花織などの芸能や工芸が数多く残っています。そして、それらを守り伝える展示施設や資料館も数多くあります。今回はそんな沖縄市の歴史や文化、伝統芸能、工芸品など、沖縄市を学び知ることができる施設や文化財を紹介します。



沖縄市戦後文化資料展示館 ヒストリート

基地の街、戦後沖縄の縮図と形容される沖縄市の戦後史と文化を感じる空間に、懐かしい写真資料やモノ資料を多数展示。2階の企画展フロアでは、企画展を行うほか、蔵書や資料検索端末の閲覧が可能で、調べものに利用できます。

基地の街、戦後沖縄の縮図と形容される沖縄市の戦後史と文化を感じる空間に、懐かしい写真資料やモノ資料を多数展示。2階の企画展フロアでは、企画展を行うほか、蔵書や資料検索端末の閲覧が可能で、調べものに利用できます。



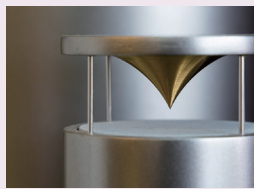
住 沖縄市中央2-2-1 タサトビル1F・2F
☎ 098-929-2922
営 10:00～18:00
休 月曜日、祝日、慰霊の日
12月29日～1月3日
¥ 無料



コザ工芸館ふんどう

やちむんや知花花織、びんがた、竹細工などの伝統工芸品をはじめ、三線やギター、オーディオ機材などの新しいもので、沖縄市が誇る工芸品を一堂に集め展示販売しています。一つ一つ心をこめて

作られた作品を実際に見て触れることで、作り手の作品への想いが感じられます。工芸の魅力や情報を発信しながら、制作体験や実演を通して、訪れる人々と職人が交流できる場を目指しています。



住 沖縄市中央1-11-2
☎ 098-934-2213
営 11:00～19:00
休 月曜日
12月30日～1月3日



住 沖縄市上地1-1-1 コザ・ミュージックタウン1F
☎ 098-989-5066
営 10:00～21:00(最終入場時間20:30)
休 水曜日(祝日の場合はその翌平日)、12月31日～1月1日
¥ 一般300円
小中高生100円
小学生未満無料



エイサー会館

沖縄が誇る伝統芸能エイサーの発信拠点施設として、エイサー文化の保存や継承に取り組んでいます。1階(無料ゾーン)には、ショップやエイサーの基本情報を解説する情報展示があります。2階(有

料ゾーン)には、ここでしか見られない沖縄全島エイサーまわりの資料やアーカイブコーナー、衣装を着て音楽に合わせて太鼓を叩いたり踊ったりできるコーナーもあります。



住 沖縄市上地2-19-6
沖縄市文化センター3F
☎ 098-932-6882
営 9:00～17:00
休 月曜日、祝日(11月3日文化の日は開館)、慰霊の日
12月29日～1月3日
¥ 無料



沖縄市立郷土博物館

第1展示室の歴史・文化コーナーでは貝塚時代から戦後に至る沖縄市の歴史や、現在では風化しつつある民俗行事、市内に残る民俗芸能を紹介。第2展示室では、沖縄市の地形や地質をはじめ、市内の山野にす

む昆虫や、川や海辺の生き物標本を図表で説明したり、自然と人間との関わりや、地域の自然を紹介したりしています。そのほか企画展や、博物館市民講座やこども博物館講座なども不定期で開催しています。

文化財編



住 沖縄市美里3-22-1

美里村屋 (ンザトゥムラー)

美里地区の公民館として1954年に美里大工の手で建てられた美里村屋。入母屋式の本造平屋は、沖縄伝統の建築技術と日本本土から伝えられた建築技術が融合した県内でも珍しい建造物です。内部は、広い一室の集会所の周囲に廊下を廻らし、西端に土間、東端に台所があります。現在でも空手教室や子ども会、青年会などの地域活動に利用されています。(国登録有形文化財)



住 沖縄市泡瀬2-1
☎ 098-939-4501
営 10:00～18:00
(社務所の営業時間)
休 無休



泡瀬ビジュル

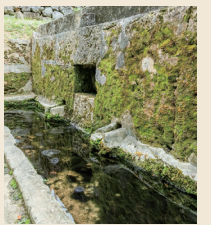
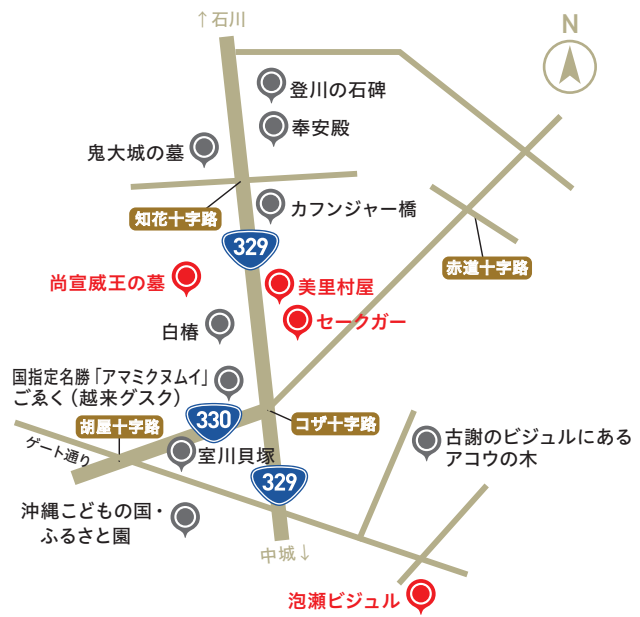
ビジュルとは沖縄では信仰の対象とされる霊石のことです。海に浮かぶ霊石を見つけて持ち帰り、ビジュル神として石祠を建て、安置したのがビジュル信仰の始まりと伝えられています。子安(子育て・子授け)、無病息災、航海・交通の安全にご利益があるといわれています。特に子宝の神として有名で、多くの人々が子宝祈願、安産祈願に訪れています。(市指定文化財)



住 沖縄市嘉間良3-11 (比謝川沿い)

尚宣威王の墓 (しょうせんいおうのはか)

尚宣威王は第二尚氏王統の始祖である尚円王の弟で、尚円王が即位すると越來間切の総地頭に任ぜられ、越來王子と称されました。1476年に尚円王が亡くなり、世継ぎであった尚真が幼かったことから、尚宣威は1477年に第二尚氏二代目の王位を継ぎました。しかし、わずか6か月で退位し、王位を尚真にゆずります。その後、越來の地に帰り、同年8月に没したとされています。



住 沖縄市美里2-19 (美里公民館南)

セークガー

堅固な石積みで、2つの取水溝と四角い形をしたのぞき穴があります。戦後に改修された記録はなく、往年の技法を伝える重要な文化財です。ヒージャーガーとともに美里集落の発祥にかかわる井泉だといわれていますが、建造年代は不明。なぜセークガーと呼ばれているのかも分かっていません。昭和初期までは住民の飲料水として使われ、洗濯場としても毎日賑わっていたそうです。(市指定文化財)

